

和歌山県公共工事入札監視委員会第81回定例会議 議事概要

| | | |
|-----------------------------|--|---|
| 開催日及び場所 | 令和4年6月24日(金) 10:00~11:30 和歌山県自治会館 304会議室 | |
| 出席委員氏名 | 沖本易子(委員長) 永瀬節治(副委員長) 田上順子 辻原治 柳川正剛 岩橋靖子 | |
| 審議対象期間 | 令和3年10月1日 ~ 令和3年12月31日 令和4年 1月1日 ~ 令和4年 3月31日 | |
| 抽出案件 | 総件数 2 件 | 議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の認定の経緯等審議 ○意見交換会 |
| 一般競争入札 | 1 件 | |
| 条件付き 一般競争入札 | 1 件 | |
| 通常指名競争入札 | — 件 | |
| 随意契約 | — 件 | |
| 委員からの意見・ 質問、それに対する 回答 | 意見・質問 別紙のとおり | |
| 委員会による建議 の内容 | なし | |

| 意見・質問 | 回 答 |
|---|--|
| <p>【入札及び契約手続の実績状況等報告】</p> <p>1. A委員 高値落札理由に「最高評価値入札者が辞退」とあるが、どのような事情によるものか。</p> <p>2. A委員 今回「技術者不足」という表現を多く見かけたが、それも辞退の一つの原因と考えられるか。</p> <p>3. B委員 県内の技術者数や不調・不落率の状況についてどのように把握しているか。</p> <p>4. C委員 高値落札理由に「鋼材価格が上昇」とあるが、材料費高騰への対策を考えているか。</p> | <p>1. 他の入札案件でも重複して落札候補者になり、より採算性の高い方を選択した、といったことがある。【事務局】</p> <p>2. そのとおり。【事務局】</p> <p>3. 県内の技術者は非常に不足している。一方、不調・不落率は、1～2%で推移しており、動的平衡状態にあるものと認識している。 これは、債務負担行為等を活用した発注時期の平準化に務めているためだと考えている。 しかし一方で高齢化が進行しており、担い手の確保が喫緊の課題と認識している。【事務局】</p> <p>4. 県では、契約にインフレスライド、単品スライド、全体スライドの3種のスライド条項を設けており、請負者からの申し出があった場合は、設計変更や単価変更を行っている。【事務局】</p> |
| <p>【一般競争入札】</p> <p>○国道168号(仮称2号トンネル)道路改築工事</p> <p>1. B委員 トンネル工事の価格競争は厳しいと思われるがどうか。トンネル工事は利益率が高く、企業努力により賄えると言うことなのか。</p> <p>2. B委員 予定価格の積算において、請負者の利益はどのくらい積算しているか。</p> | <p>(発注機関：道路建設課)</p> <p>1. トンネル工事は近年、厳しい価格競争にある。延長の長いトンネル工事では、下請との協力や、材料の大規模調達等で価格を抑えていると考えられる。</p> <p>2. 積算は工事に必要な費用を積み上げるものであるが、請負者の利益ありきでの積み上げは行っていない。</p> |

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>3. C委員 新トンネル完成後、既存のトンネルはどうなるのか。</p> <p>4. A委員 具体の技術提案の配点についてはどのように考えているか。また、審査はどのような体制で行っているか。</p> | <p>3. 新トンネルは県管理、旧トンネル及び道は市町村管理となる。</p> <p>4. WTO 案件では、配点が 50 点であり、4 項目ある。まず、コンクリート工事は仕上がりも大事である。クラックなどが有れば見た目が悪くなるため、品質向上の重要性が高く、15 点としている。</p> <p>次に、沢地形における地山の安定性については、安全性を考慮するという観点から、15 点としている。</p> <p>更に、拡幅区間の地山の安定性については、施工における一般的な工夫である事から 12 点。濁水の低減については、一般の環境への配慮を考慮しなければならないため、8 点の配点としている。</p> <p>配点は職員 3 名が関わって案を作成している。</p> <p>配点が適正かどうかを、事業課担当職員がチェックした後、その評価が妥当かどうかについて、2 名以上の学識経験者から意見聴取している。【事務局】</p> |
| <p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○南紀・はまゆう統合支援学校（仮称）校舎 2 期（南棟）建築工事</p> <p>1. D委員 工事を一期と二期に分け、さらに二期を北棟と南棟に分割することの基準及び意義はなにか。</p> | <p>（発注機関：公共建築課）</p> <p>1. 一期の校舎部分は、建物形状が三角形と特殊であるため、分割不可と考え、また、寄宿舎は別棟であるためそれぞれ別発注とした。</p> <p>二期のうち、北棟は一部既存校舎の解体も含めて発注している。</p> <p>分割発注は、県内業者の受注機会の確保を考慮したものである。</p> |

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>2. B委員 具体の技術提案において、杭がテーマであるのは、建設予定地が川筋に近いことが大きな理由であるか。</p> <p>3. B委員 支持層は深さ何メートルくらいか。</p> <p>4. B委員 電気設備、機械設備の工事は別途であるか。</p> <p>5. B委員 和歌山県発注工事の VE の採用実績とあるが、VE とは何か。</p> <p>6. B委員 予定価格を下回る者が一者しかいなかったとのことだが、建築は土木に比べて積算が難しいということか。</p> <p>7. C委員 北棟についても入札等が行われているか。</p> | <p>2. そのとおり。事前にボーリング調査を行い、地盤状況を把握しており、今回の工事は杭の打設が必要であり、杭基礎を採用している。</p> <p>3. 杭の長さは一番短いもので5メートル、長いもので18メートルであるから、そのくらいの深さに支持層がある。</p> <p>4. 電気設備工事が6月1日、機械設備工事が5月18日に契約している。</p> <p>5. Value Engineering の略である。契約後に技術提案を頂き、工事費を安くした実績があるかどうかを評価している。</p> <p style="padding-left: 40px;">契約後、イノベーション等により費用を安くできる提案をもらい、品質や安全性の確認が取れば変更契約を行う。総合評価方式の標準型落札決定基準において、VE は既定の評価項目として定められている。【事務局】</p> <p>6. 建築は土木工事と比べて工数が非常に多い、また、主要材料の種類が多岐にわたっているため、調達資材等についてかなり多くのところから見積等を徴取しているため、積算に必要な書類やデータは少し多いと思われる。</p> <p>7. 9月29日に契約を締結している。現在、杭工事を実施中である。</p> |
| <p>【意見交換会】</p> <p>下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 公共工事動向について</p> | |